



“星座かんさつの森” によようこそ！

今日は、家族みんなでピクニックへ行く日です。たくみくんと、妹のみづきちゃんは、この日をとても楽しみにしていました。

『星座かんさつの森』は、とっても楽しくって、面白いところなんだ。きつと、みづきも気に入るよ」小さい頃に一度行ったことのあるたくみくんは、とっても得意気です。「あの森の鳥や魚はみんな、星からできた星座なんだよ」星になった生き物がいる森ってどんなところなのでしょう？さあ、みんなで星座かんさつの森に出かけましょう！

投影時間 26分 対象 幼児～家族向け

登場人物 拓海くん、美月ちゃん、お父さん、お母さん、星座多数

素材 スライド/110枚&VTR/10分、全天周デジタル版



1 「お父さんもお母さんも遅いよ～」元気に飛び出した拓海くんにお父さんは、森の地図で場所を確認させます。「入口の森を抜けるとね…」美月ちゃんに説明するたくみくん。美月ちゃんもとても楽しみにしているようです。



2 「昨日の夜、お父さんが教えたこと、覚えているか？」「あのおまじないのこと？ちゃんと覚えているよ」「何かあったら、みづきを守ってあげてね」…この森には美月ちゃんの知らないことが何かありそうですね。



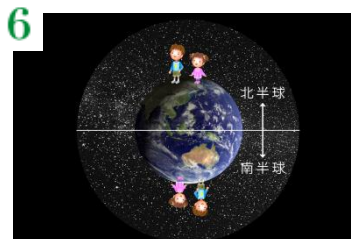
3 春の丘には黒い鳥がいました。「きゃ～！」びっくりする美月ちゃん。黒い鳥は鳥でした。拓海くんは蟹を水槽に入れて観察するのですが、その蟹を指で突いて遊んでいます。それに怒ったのは蟹と仲良しの海蛇でした。



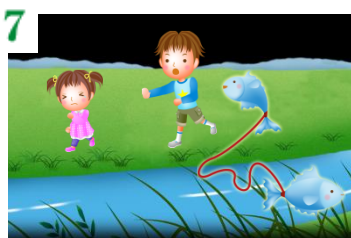
4 海蛇に背中をくわえられて持ち上げられる拓海くん。「ごめんなさ～い」謝って降ろしてもらい、蟹を水槽から取り出します。もう一度謝ったたくみくんは、あのおまじないを唱えます。「お星さまにな～れ！」鳥、蟹、海蛇は星座となり、空に昇っていきました。



5 おまじないとは森の生き物を星座に戻す呪文のことだったので。夏の湖では白鳥と鷺をスケッチし、トカゲを観察しました。星座に戻すと一つ増えています。イルカです。南の島に向かう途中には、サソリにも出会いました。



6 南の島には南半球の星座たちがいます。お父さんから南半球の説明を聞きました。そして、珍しい鳥や昆虫、爬虫類、魚たちを観察。ユリの花や榎の木にも触れ、今はなくなった星座の話をお母さんから聞きました。



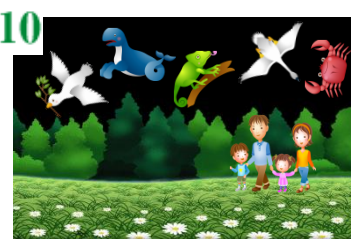
7 秋の小川では魚釣りを体験。釣れない拓海くん美月ちゃんは「赤いリボンがついた魚がいる」と訴えます。信じてもらえず、美月ちゃんは「見つけてくる」と駆け出しました。後を追う拓海くんでも、見失ってしまうのでした。



8 なんと、美月ちゃんは海に落ちてしまったのです。鯨もやって来て驚いた拓海くんはおまじないを唱えます。「鯨は星座になったけど、美月は海に落ちたままだ」そこに魚の母子が来て、美月ちゃんを助けてくれるのでした。



9 最後に訪れたのは冬の林。オリーブの葉をくわえた鳩、変った足跡の兎と出くわした兄妹は、ここでも生態のことはお父さんから、星座の説明はお母さんから受けました。「さっ、そろそろ帰ろうか」「もっといたいんだけどなあ」



10 みんなは、森の出口にやって来ました。森を抜けると、そこには…。「お月さま！まんまるだ！」「一番星も出てるよ。あっ、二番星も！」仲よし兄妹をやさしく見守っているのは？お父さん、お母さんだけではないようです。